

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和七年十二月度 入賞句一覧 投句数 千百五十七句

特選

名和 よちゑ 選

雪合せん見ているしんぱんゆきだるま

大垣市

うすい ここな（小三）

雪がふると大人はこたつで丸くなりますが、子どもは風の子です。外で元気よく飛び回り、雪が大好きです。すぐに雪だるまを作り、でき上がると次に雪合せんが始まります。敵味方に分かれてしんけん雪合せんになつてきました。しんぱんは雪だるまです。さて、どちらが勝つたのでしょうか。元氣な笑い声がきこえてきます。

きもちいい氷をわるとガラス音

大垣市

久保田 琉伊（小五）

水は気温が0度以下になると凍りはじめます。池や川にも氷がはります。身近なところでは水たまりやバケツなどにも氷がはります。麻早い登校中に水たまりの氷をふんだのでしようか。パリンとガラスが割れたような音がしたのですね。おどろきと共になんだかすつきりとしたそうかい感もあつたようです。

ひがんばな夕日で野原が燃えている

大垣市

加代 杏奈（小六）

秋になると田畑や堤防に、まつかな色をつけたひがん花が群れて咲いています。秋のおひがんの頃に咲くのでひがん花と呼ばれています。まつかな夕日の中でひがん花が燃え上がって見えます。夕日にそまつて「野原が燃えている」と表現したところが強れつに心にささってきます。作者の心にもしつかりと焼きついた景色のようです。

秀逸

いつだつてうたをあいしたばしようさん

岡山県倉敷市

岡崎 あおば（小三）

きたかぜがぎんぎんなるよふゆのかぜ

大垣市

あさ野 りようすけ（小二）

かえつたらこたつがでてくびだけだ

大垣市

富田 精佑（小三）

げんばくきかなしいかこがあつたんだ

大垣市

高山 稜太（小四）

冬の月ぎらりと光るたつた一つ

大垣市

おく田 ゆう心（小五）

赤トンボタやけのうみでおよいでる

大垣市

谷川 叶真（小六）

冬の川こいが泳いでなみがたつ

揖斐郡池田町

森 彩名（小五）

凧が静かな冬をふきぬける

揖斐郡池田町

中野 聡祐（小五）

水門川うかぶ水鳥ゆつたりと

揖斐郡池田町

井口 眺雅（小五）

秋の風さびたぶらんこキーキーと

大垣市

陸田 峻生（小四）

入選

手洗いがなんだかいやな秋の水
カメモシがせんたくものから出てきたよ
AIとえいごをまなぶあきの夕
かぞくがねせまいこたつをとりあつこ
ふなくだりゆうきがなくてこわかった
ことしでね秋の七草おぼえた
今年こそサンタを見るぞてつ夜する
ゆきだるま一つの命をつくりちゆう
夜ご飯たべたことないたらばがに
大晦日夜中にひびくかねの音
秋の木の葉っぱが落ちてパリツとなる
もみじちるやまはだんだんいろあせる
きのこじるぼくはたべないぜつたいだ
さむいふゆゆきだるまころりできあがり
秋はじめどく書が進み時すぎる
冬紅葉風にまかれてまい落ちる
冬の川かわうが魚おいかけろ
ピカピカとイルミネーション目もひかる
水面に咲き乱れたり蓮の花
空光るはげしき雷雨龍の如

大垣市

中村 朱里（小四）

大垣市

戸田 台晟（小二）

大垣市

川上 凜（小二）

大垣市

松岡 采音（小三）

大垣市

日比野 さくら（小四）

大垣市

竹内 実玖（小四）

今年こそサンタを見るぞてつ夜する

大垣市

香村 悠月（小五）

ゆきだるま一つの命をつくりちゆう

大垣市

坂下 椎己（小五）

夜ご飯たべたことないたらばがに

大垣市

安田 まきと（小五）

大晦日夜中にひびくかねの音

大垣市

澤田 健吾（小五）

秋の木の葉っぱが落ちてパリツとなる

大垣市

清水 慎斗（小六）

もみじちるやまはだんだんいろあせる

大垣市

上野 愛月（小四）

きのこじるぼくはたべないぜつたいだ

大垣市

かわせ かずとし（小四）

さむいふゆゆきだるまころりできあがり

大垣市

馬淵 すず（小四）

秋はじめどく書が進み時すぎる

大垣市

小坂 茅佐（小六）

冬紅葉風にまかれてまい落ちる

揖斐郡池田町

馬場 伊織（小五）

冬の川かわうが魚おいかけろ

揖斐郡池田町

遠藤 綾乃（小五）

ピカピカとイルミネーション目もひかる

大垣市

川さき りおな（小三）

水面に咲き乱れたり蓮の花

大垣市

永津 航（小六）

空光るはげしき雷雨龍の如

大垣市

杉原 佑亮（小六）

選者吟

子を抱き上げ聖樹に飾る銀の星

よちゑ

小中学生の部

